

——クリストファーさん（以下、クリス）が提供する「カレルエフェクト」というサウンド体験は、聴くことでボディ・マインド・スピリットにどんな影響を与えるのでしょうか。

クリス 「カレルエフェクト」（以下、CE）の特徴は、「スピリットとダイレクトに共鳴するようにデザインされている」ことです。これまで多くのヒーリングやセラピーを目的とした音楽がありました。私の知る限り、「スピリットに共鳴させる音」は、CEの他にはないと思います。

なぜそうしたテクノロジがこれまでなかったかといえば、「スピリットとは一体何か」「スピリットがいかにパワフルで、自分がスピリットであるということに気づくことが意識の拡張に必要であるか」ということが理解できていなかったからだと思います。

では私たち本来の姿であるスピリットとは何でしょうか？ 私たちはスピリットと呼ぶ代わりに、ギリシャ語の「無制限・無限」などを意味する言葉にちなみ、「アペイラン」と呼んでいます。アペイランの本来の状態は、波長も、時間も、エネルギーも、質量も空間もありません。ですが、すべてのことを創造できる能力があり、「すべて知っている」状態です。人が現状で想像

する以上に超越した能力をもっています。不死身の存在であり、多次元にわたり存在し、いろいろな器（ライトボディや物質、肉体など）の中に入り、その器を操作します。しかし、肉体という器の中でマインドと共存するうちに、アペイランは自己の気づきを失い、その能力を発揮できなくなります。肉体に入るといふことはいわば、まったく自由の利かない監獄にいるようなものです。

そこでCEを体験することで、あらゆる拘束やマインドのプログラミングから自由になり、自分はマインドや肉体ではなく、無限の能力があるアペイランであることを思い出すきっかけを提供します。これがCEの目指しているゴールです。

——「聴くこと」で何かを悟る・覚醒するという場合、アペイランの解放が必要だと？

クリス そうです。マインドのプログラミングを一時的に変容させて、あなたも意識が覚醒したかのように錯覚させる方法はいろいろあります。しかし、真の意識の覚醒・拡張は、アペイランが自由になり、無限の能力に気づくことではじめて可能になるのです。

CEテクノロジは「すべてはバイブレーションである」という原理に基づいています。アペイランは非常に細かいバイブ

レーションを感じることができないので、電気や機材に混じるノイズを除去するために、オーディオ装置からヘッドフォンに至るまで、特注したハイテクノロジーな機材を使用して、立体的なサウンドで体験します。

サウンドを使って直接アペイランにコミュニケーションする際、立体的に録音したサウンドであることは重要です。通常の録音では、重要な情報の一部が失われてしまうのですが、立体的なサウンドで録音した場合、それらの情報は維持されます。そして聴覚の自然なプロセスである「選択的聴取」（自分で音を選択して聴く能力）が可能になるため、リスナーは周りの音の位置を選択して聴くことができるのです。

そして音源ですが、CEは一般的な音楽ではありません。導入部分では音楽的な要素も使いますが、メインの部分はホワイトノイズ、ピンクノイズ、ブラウンノイズ、グリーンノイズなどで構成されています。これはすべての音の周波数を再現します。

CEにとって重要なことは、「すべての音の周波数を提供する」ということです。長年の研究で、CEではそれを可能にしました。CEを体験している間、リスナーは何も考えないでいるのが理想です。マインドは

音楽プロデューサー

クリストファー・カレル  
Christopher Currell

## スピリットにダイレクトに響くサウンド カレルエフェクト

マイケル・ジャクソンとの音楽活動を経て、現在は日本を拠点に独自のサウンド体験を提供するクリストファー・カレル氏。

果たしてそのサウンド体験は、どんな目的でつくられ、聴く人にどんな影響を与えるのだろうか。

通訳◎カレルりえ 取材・文◎町田 光





一切働かせず、ただ音に耳を傾けるだけです。記憶を含むすべての体験は波形パターンで構成されています。CEにもそれと同じ波形パターンが存在しています。これらふたつのパターンが重なると、エネルギーが倍になります。エネルギーが強くなることで、これらのパターンがリスナーの顕在意識に現れるのです。

その結果、どのように意識の変容を体験するかは、体験者個々によって異なります。ただ、外在化と私が呼んでいる一種の幽体離脱のような感覚を多くの人が味わい、さまざまな体験を楽しんでいます。その後、新しい選択をすることで、人生にどう変化が訪れるかもじつに多様です。どなたもご自分に

マイケル・ジャクソンなど著名なミュージシャンたちと大観衆の前で演奏することで、人々がこのようなスケールでどのようにサウンドに反応するかを、自ら体験し理解を深めることができました。そしてどんな音楽を使えばアペイランとの共鳴が生じるのか、その方法を過去の記憶や宇宙での体験をベースに研究してきました。

### クリストファー・カレル Christopher Currell

ミュージシャン、作曲家、プロデューサー、シンセシスト、サウンドデザイナー、3Dオーディオプロデューサー、エンジニア、著作家、講演者。マイケル・ジャクソンのアルバム『BAD』のサウンドや作曲、ワールドツアーのメンバーとしてマイケルの全盛期を支える。2009年より日本に活動拠点を移し、2012年11月より「カレルエフェクト」セッションの提供を開始。過去生の記憶や宇宙での体験などを生かした音楽制作を行っている。著書に「カレルエフェクト～量子ポテンシャルのハーモニック共鳴」(日本語版)がある。



### カレル氏が制作した大人気CD

「ガーデンシリーズ」  
『ガーデン・オブ・ヴィス』  
『ガーデン・オブ・イーオン』  
『ガーデン・オブ・ゾー』

各2,500円3枚セット7,000円(税込)  
詳しくはWebサイトをご覧ください。  
トランスフォーメーション・ツールズ：  
<http://transformation.ishwish.net>  
カレルエフェクト：<http://transformation.ishwish.net/ce/>  
オンラインショップ：<http://audiocybernetic.cart.fc2.com>